

2023年度
学校だより
華秋祭特集号
(2)

しもね

牛久市立下根中学校
令和5年11月28日
文責 校長 立花勝行

令和5年度 華秋祭(2日目) 合唱コンクール 【開会式・1年生の合唱】 ～栄華秋英～月まで響け、虹色の音色～

華秋祭2日目は合唱コンクールです。合唱コンクールは実行委員長のあいさつから始まりました。

一日目の華秋祭は楽しめましたか？二日目の今日は皆さん一人一人が主役としてステージに立ちます。合唱ならではのクラスが一つになる喜びを感じたり、友達が頑張っているから自分も頑張ろうと思えたり、華秋祭ならではの良さを体感することが出来たと思います。華秋祭を通して、皆さん自身が少しでも成長できていると思える点があればとても嬉しいです。クラス全体でどう練習すれば良いか、どう工夫すれば良いか、たくさん考えたと思います。今まで向き合ってきた練習の成果を存分に発揮し、スローガンの通り、たくさんの歌声が月まで響くことを楽しみにしています。自信をもって練習の成果を発揮していきましょう。



今年のスローガンにはこんな思いが込められています。同じく、実行委員長の言葉です。

栄華秀英は草木の花の総称という四字熟語なのですが、秀でるの字を秋に変えることで、華と秋で華秋祭を紐付け、様々な歌声があるという意味を込めました。

サブタイトルである～月まで響け、虹色の音色～には、様々な歌声を虹色と表し、合唱となることで虹が架かり月まで響くように奏でようという思いが込められています。華秋祭で虹が架けられるように本場までの時間でたくさんのことを学んでいきましょう。

そして始まった合唱コンクール。残念ながら2年生は参加できませんでしたが、1年生も3年生もそれぞれ思いのこもった合唱を聴かせてくれました。心から感謝しています。



初めての華秋祭・合唱コンクール ～ 1年生の感想から ～

1-1の最初の練習はまとまりがなく、本番は歌えるかなって心配だったけど、リハーサルだったり、パート練習を重ねていくにつれて自信もついて、声量もでてきて、リハーサルではその成果が出せた。そこから本場まで全体練習が少なく、目標の100回は歌えなくて、細かい調整など全然できなくて悔しいけど、本番ではみんなが自信を持って最後まで歌い切れて良かった。結果は、金賞とか銀賞とか銅賞とか賞はとれなかったけど、練習の成果がでて良かったと思います。

華秋祭を通して成長したことは、クラスの団結力だと思います。練習の時は色んな人からの意見を取り入れたり、何回も歌いなおしたりしてクラスみんなで作りが出来たと思います。本番の時にハプニングが起こったりしたけれどみんなですばやく対応することが出来たし、きんちょうしている中、大きな声で歌を届けることが出来て練習の成果を感じることが出来ました。しかし、3年生の力強く歌が語っているかのような歌声を聞いた時は、ただ歌うだけではなく何回も聞きこんで歌いこむことが必要なんだなと実感することができました。

今回の華秋祭では、賞は取れなかったけれど練習の成果を発揮できて嬉しかった。華秋祭の練習などを通して、クラスをまとめてくれた人達の大変さがわかったからこれからの生活や行事を通して、よく指示を聞いたり、自分から行動に移したりするなどみんなと協力していきたい。そして3年生の合唱を聞いて、どのクラスも歌声がそろっていて、1年生の合唱と比べて違いが分かったからそれを来年に活かして頑張っていきたい。

初めての華秋祭でステージにたって、みんなの前で歌うことはとても勇気がいることだけどクラスみんなで支えあっていくことで成功することができた。1か月くらい前からの練習で毎日大変だなと思って練習をしていたけれど、まわりの人たちみんながんばっていたので私もがんばることができました。3年生の先輩方は自分たちの歌声とは全然違くて、もっときれいでクラスのまとまり感がすごく感じられる歌を発表していた。1年生から3年生までの指揮者や伴奏者の人たちも毎日努力して練習をよくしていたことが伝わる。この華秋祭を通して来年になってもまたクラスみんなでまとまってがんばっていきたいと思う。

